

● ドアスイッチ配線を行う場合

⚠ 注意

ドアを閉めた後、ルームランプ点灯の為、ドア配線にしばらく電圧が維持する車両があります。そのような車両はドアを閉めた後10秒以上待って、エンジンを始動して下さい。



車両の半ドア警告灯やルームランプを点灯させる為の線です。ドアを閉めた時に5V程度となる車種もあります。



接触不良がおきないように確実に取り付けて下さい。取付後、絶縁テープでエレクトロタップをテーピングして下さい。



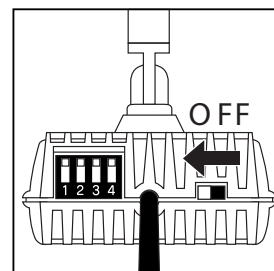
ドアを開けても20秒間アイドリングを継続させたい場合は14ページのドアタイマー機能の設定を行って下さい。

- ドアスイッチの配線を行う事により、リモコンでのエンジンアイドリング中に、運転席のドアを開けるとエンジンを停止させる事が出来るようになります。尚、ターボタイマーによるアイドリング中は、停止しません。

STEP-1

- 一旦アンテナユニットのパワースイッチを切ります。

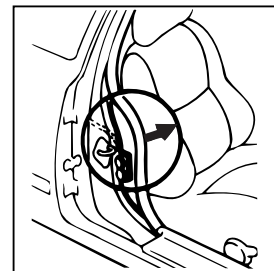
L端子配線等を行った車両は、安全センサーケーブルが本体に接続されているので、一旦外して下さい。



STEP-2

- 運転席のドアスイッチ配線を探します。

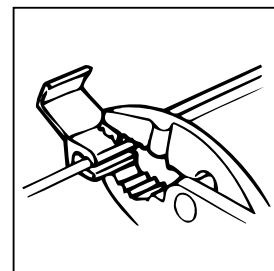
ドアを開けた時は0V、閉めた時に12Vとなる線です。(必ずテスターをご使用下さい。)



STEP-3

- 安全センサーケーブルの茶色線を接続します。

安全センサーケーブルの茶色線は、ボンネットスイッチ配線と共用になっています。ボンネットスイッチを取り付けない場合には、茶色線のギボシ端子を、ニッパ等で切断し付属のエレクトロタップで接続します。



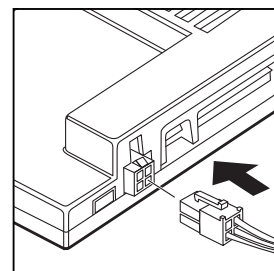
STEP-4

- 安全センサーケーブルを本体のコネクター(CN2)に接続します。

OK

以上でドアスイッチ配線は終了です。

パワースイッチをONにしてドアを閉じた状態で、リモコンでエンジン始動後、ドアを開けてエンジンが停止する事を確認して下さい。



● ボンネットスイッチを取り付ける場合

⚠ 注意

ボンネットスイッチ(別売)とドアスイッチの両方を接続した場合、ボンネットを開けた時もルームランプや、半ドア警告灯が点灯します。整備等で長時間ボンネットを開けたままにされる場合には、ルームランプのスイッチをお切り下さい。

- ボンネットスイッチ(別売)の取り付けを行う事により、ボンネットが開いている時には、リモコンでのエンジン始動が出来なくなり、作業中の安全を確保出来ます。出来るだけボンネットスイッチの取り付け、配線を行って下さい。取り付けに関しては、ボンネットスイッチ付帯の取付説明書をよくお読み下さい。